

# 学校だより

# 第8号

神奈川県立伊勢原養護学校

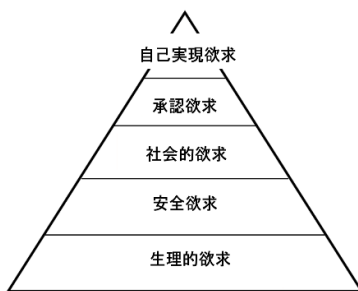
平成29年12月18日発行

## 自分から行うことができるようになるろう

副校長 七海 勝浩

先日、11月18日には文化祭が盛大に行われました。企画や運営、工夫をこらした演出等、ご協力いただきました皆様方に深く感謝いたします。

この季節は、庭やグラウンドの木々が赤や黄に染まり、景色がたいへんきれいです。落ち葉が道路にふりつもり、かたづけるのに苦労します。本校のロータリーのケヤキの木でも、昇降口前には落ち葉の山ができます。そんな中、気づいた何人かの生徒が、先生に指示されることなく、主体的・自主的（＝自分から行なう）に掃除をしている姿を見ました。普段の授業の中で、清掃に関する内容は多くありますが、この場面では、誰にも指示されることなく行ったという点で、授業とは違います。日ごろからいろいろなことを学び取って成長した生徒の勇気ある行動にうれしさを感じました。さて、主体的・自主的とは、どのようなことでしょうか？



考えるヒントとして、マズローという学者のヒトの欲求にはランクがあるという欲求段階説があります。これによると、指示をされて行うことは「他者へ認められたい」という承認欲求で2番目です。一方、自分から行なうということは自己実現欲求（挑戦・創造・表現欲求）で「状況に合わせ、自分のやりたいことをやる」という最も高度な行動です。この行動には、将来自立し、変化する時代を生き抜くことができる様々な力が含まれていると私は考えています。

ふりかえると、教えられてなかなか覚えられないことが、あるきっかけで自分でいき、うまくいった経験があるのではないのでしょうか。私の教員経験でも、一方的に伝える授業ではなく、話し合いや発表によって生徒に考えてもらう方法を取ったところ、試験の点数が良くなり、大きな差があって驚いたことがあります。

本校の学校目標では、学習について「授業改善の方策を職員全体で共有し、児童・生徒の主体性・自主性を引き出す。自立と社会参加を視野に入れ、自己選択・自己決定する機会を意図的に設定していく」とあります。また、進路では「達成感や自信、自己肯定感を得られるようなプログラムを伴った学習支援・進路指導を展開する。各種検定やインターンシップ、実習等発達段階に応じた自己実現の機会を設け、児童・生徒が次の活動につながる意欲を持てるようにする」とあります。

主体性・自主性を引き出すことができれば、学校教育は一定の成功ではないでしょうか。

先日の文化祭では、児童・生徒の主体性・自主性があった、楽しく深みのある行事になりました。多種多様に変わる時代の子供たちには、主体的・自主的な行動で生き抜いて欲しいと考えています。今後も、発達段階や障害に応じた工夫をし、授業等に取り入れる体制をつくりたいと考えています。

最後に、昇降口をきれいにしてくれてありがとう。



# 宿泊学習 分教室

1年生は、晴天に恵まれた10月26日(木)～27日(金)に宿泊学習がありました。本校から、スクールバスに乗り込み、宿泊先である「びわ青少年の家」に向けて元気よく出発しました。

1日目は、平塚市社会福祉協議会の方のご指導のもと、高齢者疑似体験で、腰が曲がり、手足が不自由で視覚聴力が衰えたときのつらさを全員が体験しました。「動きづらくて大変だった。」「字が読めなかった。」「これから、お年寄りに親切にする。」と感想を述べていました。夕食は、全員でカレーとサラダを作りました。甘口、辛口の2種類のカレーをほとんどの生徒が「おいしい」とおかわりしました。食材は、分教室の生徒が週2回インターンシップ実習をさせていただいているお店で、夕食、朝食の材料を準備しました。店長が「良いものを用意します」と言ってくださり、心強かったです。



びわ青少年の家



しんわルネッサンス社員食堂

全員完食しました

2日目は6時起きで「びわ青少年の家」を、全員で清掃しました。インターンシップで培った技術を生かしテキパキときれいにしました。「しんわルネッサンス」に移動して、見学とどんぐりの苗植えの体験をしました。どんぐりの苗植えは、ポットの真ん中にまっすぐ植えるという指示を守ろうと、真剣に取り組みました。

お互いに協力して行動し、社会参加に向けた経験ができた2日間でした。

# 七沢学園 修学旅行

【小学部(10/26～27)】素晴らしい天候に恵まれ元気に行ってくることができました。本厚木から羽田空港までのバスの旅。乗り継ぎをし、いよいよディズニーランドへ。早速お目当ての昼食やポップコーンを食べ、アトラクションを楽しみました。ホテルではゆっくりと大浴場で汗を流し、豪華な夕食をお腹いっぱい頂きました。欲しかったカードもおみやげにできて満面の笑み。翌日、持参したグローブで早朝トレーニングに励む姿も見られました。朝食もたくさん食べ、水族館でペンギンなどを見ました。そして帰途。バスで羽田へ。空港ではゆっくりとソフトクリームを食べながら屋上で飛行機を見るなど大満足の修学旅行となりました。



【中学部(11/8～10)】待ちに待った修学旅行。期待に胸を膨らませながら出発。出発時には、少々雨が降りましたが、その後は素晴らしい天気に恵まれました。まずはロマンスカーや新幹線に揺られながら大阪へ。

1日目の海遊館では、たくさんの魚を見学。ジンベエザメやマンボウの大きさに驚きました。

2日目のUSJでは朝から夕方までアトラクションや昼食、買い物を楽しみ、欲しいものも買うことができて大満足。夕食は少し大人な食事をいただきました。

3日目は大阪城へ。天守閣からの眺めは最高でした。

帰路では少し疲れた様子は見られたものの無事に到着。思い出に残る最高の修学旅行となりました。

## 通学支援ボランティアの募集のお知らせ

主に高等部の生徒の登下校の見守りをしてくださるボランティアを募集しています。

朝 8時～8時50分 下校 14時40分～15時30分(水のみ14時20分～15時)

活動内容は通学路に立ち、生徒が安全に通学できるように見守ることです。

活動日や時間をご都合の付く範囲で構いません。関心がある方は担任もしくは地域支援・相談班まで声をかけてください。

# 第40回文化祭

11月18日(土)第40回伊勢原養護学校文化祭が行われました。今年も500名以上の方が来校してくださり盛り上がりました。

午前のステージ発表では、合唱やダンス、リズム合奏、劇、ミュージカルなど各学部学年それぞれの良さを生かしたパフォーマンスが披露されました。どのステージも児童・生徒たちが生き生きと生きていてすばらしかったです。

午後は、高等部作業班、七沢学園が販売、ゲームコーナーを行いました。どこもお客さんでいっぱい、接客や会計にと忙しそうでしたが、自分たちが作った製品が売れたり、ゲームコーナーでお客さんが楽しんでいる姿を見て児童・生徒たちも嬉しそうでした。

また、各学部学年ごとに教室や廊下を使って作品展示も行いました。美術で作った作品や、校外学習の事前・事後学習、調べ学習などの成果物がたくさん展示されていました。

さらに今年も厚木・伊勢原地区の福祉事業所によるバザーを実施しました。こちらもたくさんお客さんがきて大盛況でした。児童・生徒、保護者だけでなく来校者の皆さんにも地域の福祉事業所の活動を知ってもらう機会になったかと思います。

今年の文化祭は、高等部・分教室の生徒にステージ発表の司会、ステージの大道具係、来校者受付係として手伝ってもらいました。校内に掲示してある文化祭案内のポスターやプログラムのイラストなども児童・生徒がたくさん描いてくれて、すてきなものができました。今年のテーマ「空前絶後の文化祭！みんなで つくろう！スマイル ダー！！」のように児童・生徒みんなで作り上げた文化祭となりました。

## 卒業生のお話を聞こう 高等部・分教室

去る11月24日(金)、高等部、分教室1年生の生徒と保護者を対象に、『卒業生のお話を聞こう』が本校体育館にて開催されました。市光工業に勤める、本校の卒業生1名を含む講師2名を招き、会社の概要や仕事内容、働く上で気をつけていること、大変なこと、やりがい、給与に至るまで約1時間、幅広くお話をいただきました。

市光工業株式会社は、全国各地の他、中国やタイ、マレーシア等、海外にも拠点を構え、主に自動車のヘッドランプを製造する東証一部上場企業です。伊勢原市板戸にある本社兼研究、製造拠点には現在、伊勢原養護学校の卒業生が7名働いています。

1年生の生徒にはまず、仕事内容の紹介をしてくださいました。会社敷地内の清掃や草刈り、届いた郵便物の仕分け、シュレッダー、パソコンを使った作業等々、多くの仕事があり、色々な仕事ができることが楽しくもあり、大変でもあると話していました。勤務時間は8:30~17:30で、12時のお昼休憩の他に、10時と15時にそれぞれ短い休憩があるそうです。

働くようになってからは、より重い責任を持って仕事をしなければならないこと、そのために病気やケガをしないための自己管理の意識、時間やルールの遵守への意識が大きく変わったということでした。その話を真剣に聞く1年生の生徒も、目の前の先輩と自らの将来をぼんやり重ねていたかもしれません。

4月に入学してから現在まで、1年生は2度の校内実習を経験しました。12月には進路面談があり、保護者の方も含め、少しずつ、将来について考える時間が増えているのでしょうか。光陰矢の如しとは言いますが、あせらずあわてず、一日一日を大切にしていきましょう。市光工業の先輩、ありがとうございました。